

平成20年2月14日

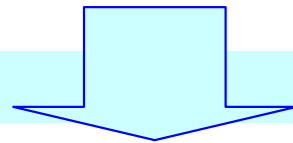
第1回 那珂樋管設置魚類迷入
(吸い込み)防止対策効果試験
検討委員会 資料 - 4

「那珂樋管設置・魚類迷入(吸い込み)防止対策 効果試験」に関する基本的な考え方について

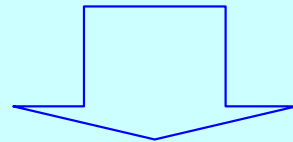
国土交通省 関東地方整備局
常陸河川国道事務所・霞ヶ浦導水工事事務所

基本的な考え方

霞ヶ浦導水事業の実施にあたっては、関係漁協の皆様と20年余りにわたる話し合いを行い、那珂川の水産資源への影響、那珂川の河川環境への影響を極力抑制し、最小限の影響とするよう調査や模型実験等による検討を重ねて参りました。

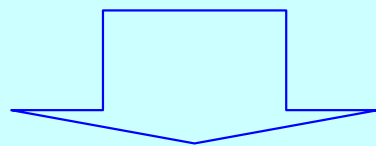


しかし、関係漁協の皆様からは、対策案に対して具体的に何が課題か、明確な返答をいただけていません。



机上の検討や模型実験による対策案の効果の説明では、関係漁協の皆様のご心配やご不安をぬぐいきれないためと考え、現地での実物大施設による迷入（吸い込み）防止対策の効果を実際に確認していただく取水試験を行い、関係漁協の皆様の心配や不安を解消していくことが必要であると考えました。

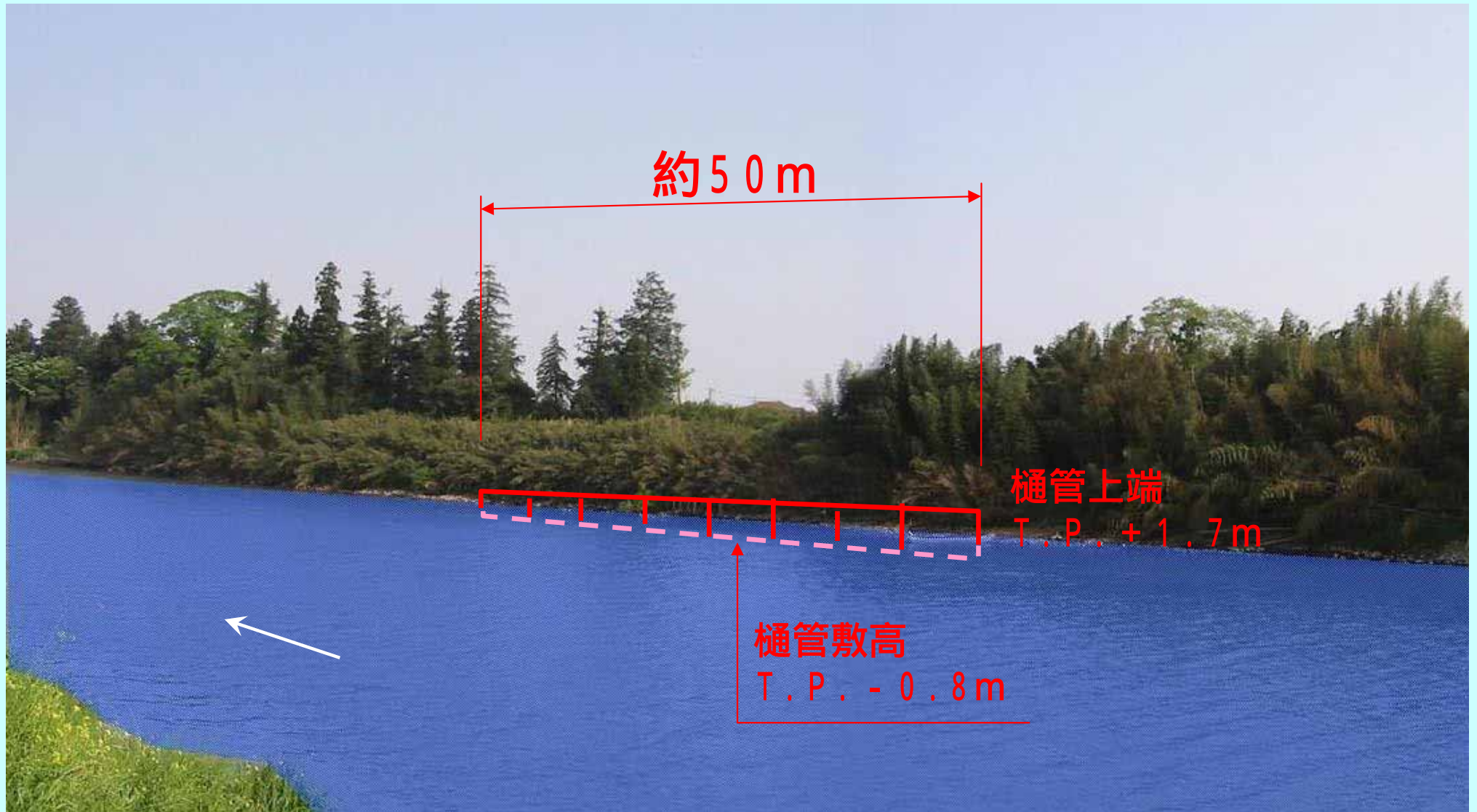
河川は、それぞれの河川ごと、区間ごと、場所ごとに異なる特性があり、地形、地質、流量、流速、水温、水質等、動植物の生息・生育環境を構成する要素は、場所によってさまざまであり、これら場所の特性を踏まえた上で迷入（吸い込み）防止効果については、確認する必要があります。



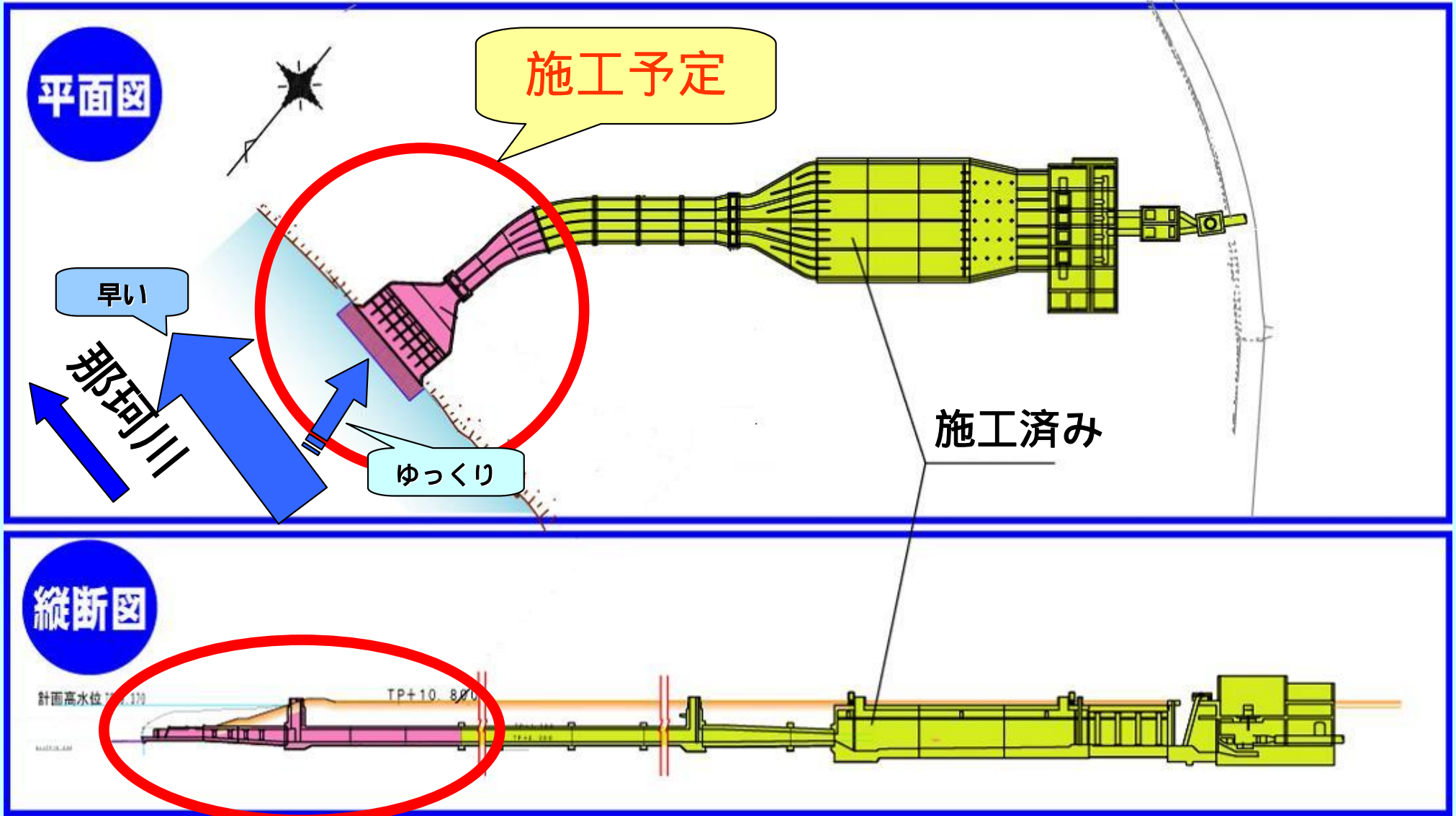
魚類迷入（吸い込み）防止効果については、これまでも模型実験等を実施してきていますが、生態系に関しては、不明な点も多いので、より科学的・より精度良く評価する為には、現地での実物大試験が必要と考えています。

- ・この委員会で魚類迷入（吸い込み）防止対策の効果を確認するまで、本格運用には入りません。

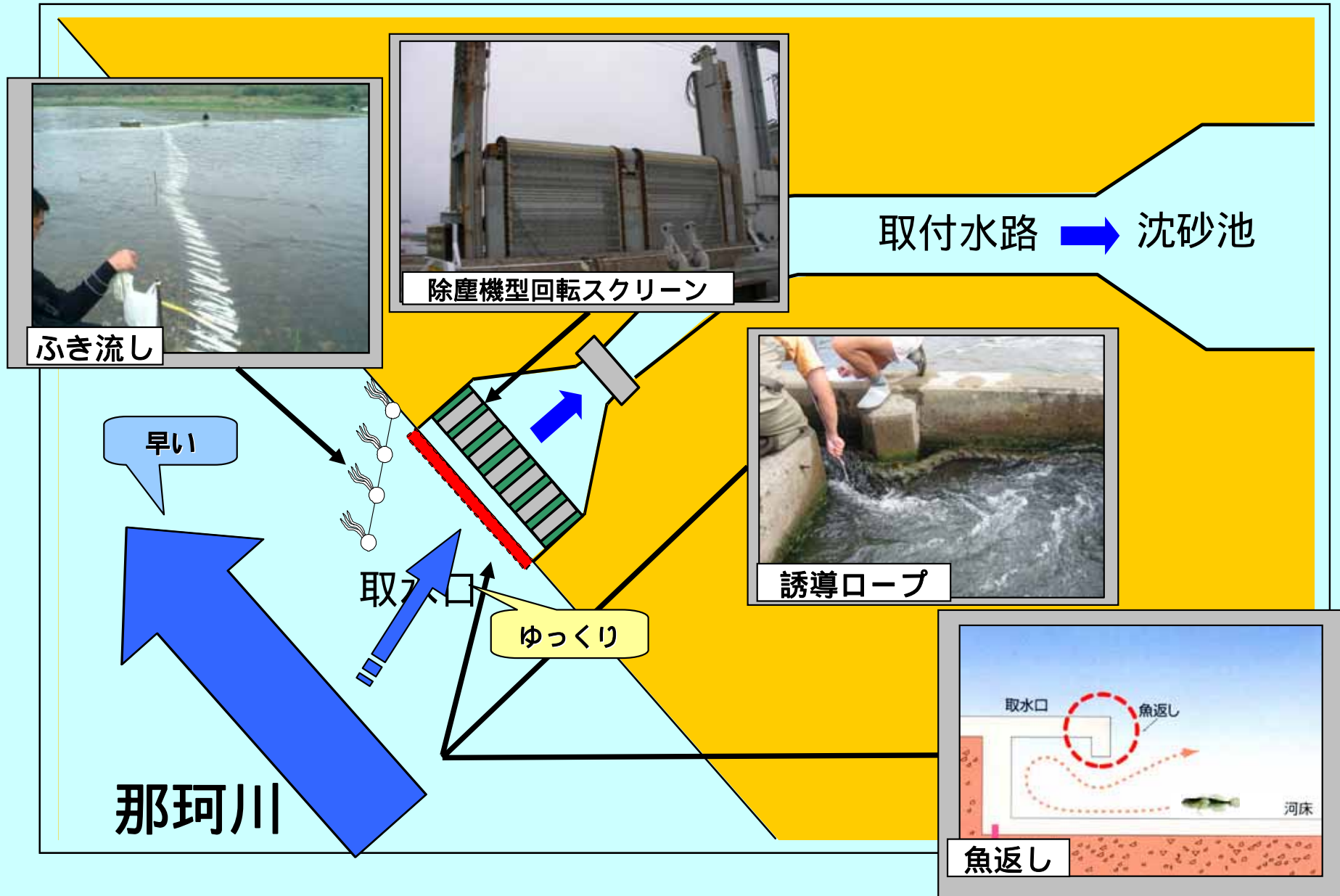
那珂樋管構造 (案) 那珂樋管予定地



那珂樋管構造（案） 平面・縦断構造図



稚アユ、稚サケの迷入対策について 底生魚やモクズガニ等の迷入対策について



試験による水の流れ



今回の委員会における検討内容

那珂樋管の設置に伴い、魚類迷入（吸い込み）防止効果を確認するために現地で実物大試験を行います。

今回の委員会では、この現地実物大試験をすることについて、科学的知見により、ご議論をして頂きたいと考えております。